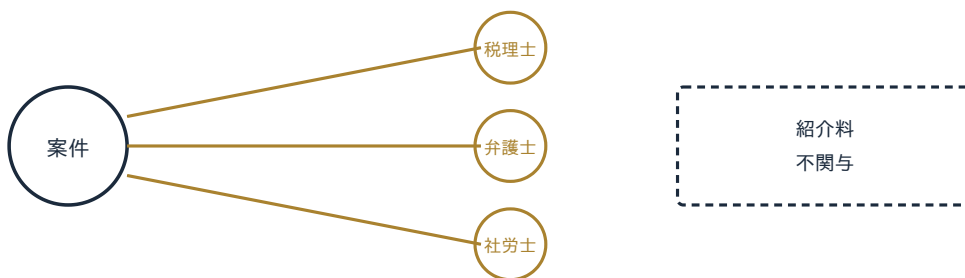


専門家接続プラットフォームレポート

「紹介した後にくらもらえるか」で、 専門家の答えは変わりうる

LINK-Aが紹介料を受け取らない理由と、専門家接続を「PM」として設計する意味



本資料について：本資料はLINK-A（専門家接続プラットフォーム／PM事業）の仕組みに関する一般的な整理であり、個別の専門家選定・契約判断の代替ではありません。※これは一般情報です。最終判断前に必ず該当分野の専門家へ確認してください。

本資料はLINK-Aの接続実績（件数・成約率等）を一切含みません（出典を確認できるデータが存在しないため）。また、不動産・保険・金融の紹介事業その他、本資料作成時点で検討中・一部凍結中の拡張施策には触れていません（正式に確定している中核機能のみを対象とします）。

Key Messages

- 1 一般的な紹介の仕組みでは、紹介先によって紹介料率が異なる場合、紹介する側の判断に構造的な利益相反が生じうる。
- 2 LINK-Aは接続先の有資格専門家（弁護士・社会保険労務士・行政書士・税理士等）への紹介料には一切関与しない設計を採る。
- 3 LINK-Aが担うのは、あっせん・仲介ではなく、案件単位の進行管理（PM）である。対外表現でも「マッチング」「紹介」ではなく「接続」「コーディネート」を用いる。
- 4 相続・補助金・M&Aのような複合案件では、専門領域ごとの判断は各専門家が担うが、案件全体の進行を横断的に見る機能は誰の担当にもなりにくく、この空白をPM機能が埋める。

紹介料が発生する紹介には、構造的な利益相反のリスクがある

観点	紹介料が発生する一般的な紹介	LINK-Aの設計
紹介料の有無	接続先によって紹介料率が異なる場合がある	士業への紹介料には一切関与しない
経済的誘因	紹介料の高い接続先を勧める誘因が構造的に生じうる	接続先による経済的誘因の差が生じない設計
対外表現	「紹介」「マッチング」が一般的	「接続」「コーディネート」を用いる（あっせん・仲介を行わない立場の明示）

この設計の位置づけ：紹介料への不関与は、CO-LINKの社内方針として確認済みの事項である。士業側の報酬体系・独占業務との関係は、各士業法・関連法令に基づく論点であり、本資料は法令の逐条解説を目的としない。

出典：01_global_os/DOCS/BUSINESS-DOMAIN-STRUCTURE.md §3「LINK-A（#2）」（CO-LINKの事業設計として確認済み）

LINK-Aが接続する専門家は、9カテゴリにわたる

専門家	主な役割
弁護士	法務監修、契約、紛争、M&A最終契約
社会保険労務士（社労士）	労務、雇用、社会保険、助成金申請
行政書士	許認可、行政手続、契約書作成
税理士	税務、申告、税務論点の最終判断
公認会計士	会計監査、企業価値評価の最終判断
経営革新等支援機関（認定支援機関）	経営改善計画、公的支援策の活用
司法書士	商業登記、不動産登記、相続登記
金融機関・融資アドバイザー	融資、資金調達、資金繰り相談
不動産事業者（宅地建物取引士）	事業用不動産、相続不動産の仲介・評価

「経営革新等支援機関（認定支援機関）」は国の認定制度であり、CO-LINK自身が保有する民間認定とは別の制度である。両者を同一視しないこと。

出典：01_global_os/DOCS/BUSINESS-DOMAIN-STRUCTURE.md §3「LINK-A（#2）」（本セッションで直接照合。実名・カテゴリの改変なし）

複合案件では、専門領域の判断と全体の進行管理は別の機能である

たとえば相続案件では、相続税の申告は税理士、相続登記は司法書士、遺産分割に争いがある場合は弁護士と
いうように、複数の専門家が必要になることがある。各専門家は自らの専門領域内の判断に集中する（それが
独占業務の前提でもある）。しかし「次に何を、いつ、誰に依頼すべきか」という案件全体の進行管理は、い
ずれの専門家の専属業務でもない。

① 案件の全体像の整理

どの専門領域が関わりうるかを洗い出す。

② 専門家への接続

必要な専門領域ごとに、有資格の専門家へ接続する（紹介料不関与）。

③ 進行管理（PM）

誰が・いつ・何を判断すべきかを整理し、案件全体の進行を横断的に見る。

④ 各専門家による最終判断

税務・法務・労務等の最終判断は、それぞれの有資格専門家が行う。

具体的な案件の進行順序は個別事情により異なるため、本資料では一般的な構造のみを扱う。

「マッチング」「紹介」ではなく「接続」「コーディネート」という言葉を使う理由

LINK-Aは対外表現においても、士業領域については「マッチング」「紹介」という言葉を使わない方針を採用。これは、あっせん・仲介（契約成立に向けた交渉等への関与）を行う立場ではなく、案件整理・進行管理（PM）に徹する立場であることを、言葉のうえでも一貫させるための設計である。

課金の設計：LINK-Aの課金は、接続の成否（実際に契約が成立したかどうか）に依存しない設計を採用。これも、あっせん・仲介ではなくPMとしての位置づけを一貫させるための設計である。

出典：01_global_os/DOCS/BUSINESS-DOMAIN-STRUCTURE.md §3-2（表現・課金設計の方針として確認済み。§3-2本体が扱う接続対象拡張の内容自体は本資料の対象外）

まずは、案件の全体像を整理するところから

- 1 自社の案件がどの専門領域にまたがるか（税務・法務・労務・登記等）をまず整理する
- 2 複数の専門家に個別に依頼する場合、誰が全体の進行を管理するかを事前に決めておく
- 3 紹介を受ける際は、紹介料の有無・発生条件を確認する
- 4 複合的な案件では、進行管理（PM）の機能を誰が担うかを、専門家選定と同時に検討する

専門家を探す前に、進行管理から

「誰に、いつ、何を頼むべきか」の整理から、一緒に始めませんか——初回相談（案件の全体像のヒアリング）へお繋ぎします。

株式会社CO-LINK info@co-link1618.com

C0-LINKの立ち位置（境界の再確認）

C0-LINKが行うこと	C0-LINKが行わないこと（各資格者の独占業務等）
案件整理・案件全体の進行管理（PM）	各専門家の独占業務（税務代理・登記申請代理・訴訟代理・社会保険手続代理等）の代行
有資格専門家（9カテゴリ）への接続調整	士業への紹介料の受領
案件全体のスケジュール・依頼順序の整理	あっせん・仲介（専門家の選定・契約条件交渉への介入）

このレポートについて（Methodology）

C0-LINKに関する事実の出典：LINK-Aの位置づけ・接続する専門家9カテゴリ・紹介料不関与の方針・対外表現の設計は、社内を確認済み記録（BUSINESS-DOMAIN-STRUCTURE.md §3「LINK-A（#2）」）に基づく。本資料作成時に該当箇所を直接照合済み。

本資料の対象範囲：本資料はLINK-Aの現時点で確定している中核機能（有資格専門家へのPM接続）のみを扱う。不動産・保険・金融の紹介事業への拡張、モノ・人材・就業機会の接続への拡張（§3-2・§3-3）は、本資料作成時点で一部candidate状態・二段階ゲート未通過のため扱っていない。

意図的に含めなかったもの：LINK-Aの接続実績（件数・成約率等）、専門家個別の実績・評判。いずれも出典を確認できるデータが存在しないため使用していない。

参照した社内資料：既存の`whitepapers\_flyers`にLINK-A本体を主題とした素材は本資料作成時点で存在しなかったため、BUSINESS-DOMAIN-STRUCTURE.md §3から直接構成した。

付録

用語集

PM（プロジェクトマネジメント）

案件の進行管理。誰が・いつ・何を判断すべきかを整理する機能

あっせん・仲介

当事者間の契約成立に向けて交渉等に関与する行為。LINK-Aは行わない

紹介料不関与

接続先の専門家からLINK-Aが紹介料等の対価を受け取らないという設計方針

経営革新等支援機関（認定支援機関）

中小企業等経営強化法に基づく国の認定制度。CO-LINK自身が保有する民間認定とは別の制度

版管理

版	日付	内容
v1.0	2026-09-15	初版発行

※これは一般情報です。本資料は専門家接続という高リスク領域に隣接する仕組みを扱います。個別の専門家選定・契約条件については、必ず接続先の専門家ご本人へ直接ご確認ください。

株式会社CO-LINK

© 2026 CO-LINK. ALL RIGHTS RESERVED.

※本資料は一般情報です。個別の専門家選定・契約判断はご本人・専門家にご確認ください。

